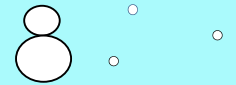


あぎ一君の



阿木川ダム防災資料館

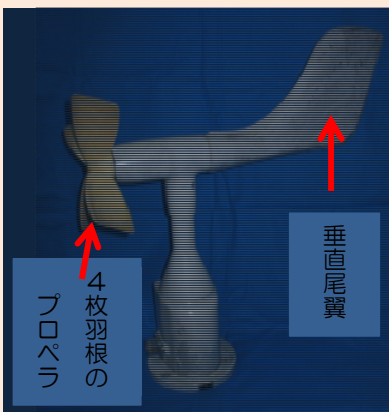


2013年、新しい年を迎えました。 防災資料館の年末年始開けには、寒い中・・・早速、ダムカードを求めて防災資料館へ来館されるお客さまがいらっしゃいました。 昨年、テレビなどで紹介されたこともあり、まだまだ、ダムカード熱は下がりません！

早いもので、2月にはいりました・・・ 今年は、昨年と比べると降雪が少ないように思います。 それでも、阿木川ダム下流地域からは、真っ白に冠雪している御嶽山の様子を見ることが出来ます。 〇

九州地方などでは、2月の始めに例年よりも早い“春一番”が吹きました。“春一番”と聞くと暖かくなってくるのかな～？と思いますが、気温が下がりまだまだ寒いです。

さて、何でしょう……？

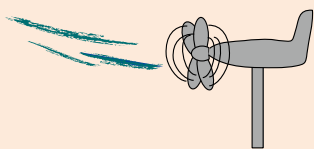


防災資料館の1階に展示されているものです。
飛行機の模型にも似ていますが・・・何だか分かりますか？
来館されたお客さんも、“何だろう？”と見て行かれます。

これは、……………

「風車型風向風速計」といい、その名の通り、風車型で風向計・風速計が“一体”となったものです。 流線方型をした胴体に、垂直尾翼と4枚羽根のプロペラが取り付けられていて、垂直尾翼により風が吹くと、プロペラが風上に向くように回転し、胴体の向きからは風向きが、プロペラの回転数からは風速が分かる仕組みになっています。

(日本は、風速計に「風車型風向風速計」の占める割合が世界でもっとも高い国のひとつとなっているそうです)



“風向”と“風速”

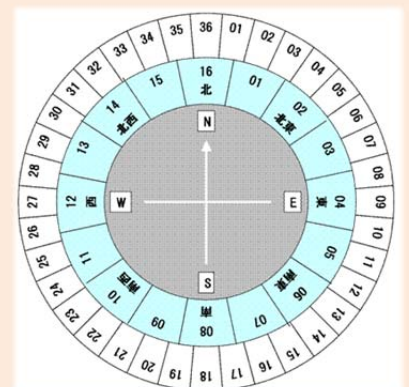
“風向き”とは、風が吹いてくる方向をいい、〈北〉を基準に全周囲を16または、36分割して16方位、36方位で表します。

“風速”は、単位時間に大気が移動した距離をいい、測定値は0.1m/sの位まで表します。

風速・風向は、たえず変化しているため、一般的には観測時間の前10分間の測定値を平均し、その時刻の平均風向、平均風速とします。



阿木川ダム管理所の屋上にも設置されているんだよ。 みなさんも、どこかで見た事があるかもしれないですね。



16方位と36方位